

# 1. 概要

## ◇小松市の位置・面積・人口

小松市は、石川県の西南部に広がる豊かな加賀平野の中央に位置し、産業都市として発展し、南加賀の中核を担っている。

東には霊峰白山がそびえ、その裾野には緑の丘陵地、そして田園、平野が広がっている。それを縫うように梯川が流れ、安宅の海に注いでいる。

- ・東経 .. 136度22分～136度36分
- ・北緯 .. 36度08分～36度26分
- ・範囲 .. 東西25.5km・南北33.1km
- ・標高 .. 最高1,368m
- ・海岸線 .. 7.5km
- ・面積 .. 371.05km<sup>2</sup>

【『令和2年度版 市勢要覧』より】

- ・人口(外国人の方も含む) .. 107,730人(男..52,956人 女..54,774人)
  - ・世帯数 .. 44,277世帯
- 【『令和2年度 小松市統計書』より】



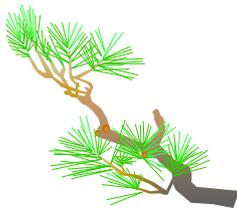
## ◇ 市章



図形は、小松市の「小」と「松」の常緑の枝葉を図案化し、更に三つのまどまりは、工業、商業、農水林業が伸展し、限りなく市勢が発展することと調和、円満、固い絆を表したものである。

昭和16(1941)年3月20日制定

## ◇ 市の木



小松の名の起こりは、約1,000年前、花山法皇が北陸に巡幸され、梯川のほとりに荘園をつくり、小松を植えたという伝承があり、その由来から市の木に「松」が選ばれた。市制40周年を記念して、選ばれ制定された。

常緑樹の松のように、いつまでも強く、気高く栄えるようにという、市民の願いも込められている。

昭和55(1980)年4月1日制定

## ◇ 市の花



小松城に隠居し、小松の近世の礎を築いた前田利常の家紋「劍梅鉢」から「梅」とした。梅は寒さにめげず、百花に先駆けて香りを漂わせて咲き、花も実もある姿は市民性をよく表されている。市制40周年を記念して、市民投票によって選ばれ制定された。

昭和55(1980)年4月1日制定

## ◇ 市歌

産業都市の建設、観光の町、躍進の小松を歌った「小松市歌」が作られた。

作詞：蕪城 正芳 作曲：今井 松雄

昭和16(1941)年3月20日制定

昭和25(1950)年4月18日一部改訂

1. 日本海の荒潮の  
 逆巻く瀾と闘いて  
 産業都市の建設に  
 勢ふ我らが雄叫びは  
 大白山の雲拂う  
 おお生産の大小松
2. 金剛杖に涙して  
 義経撲ちし赤誠に  
 薫る安宅の閑ありて  
 仰ぐ我らが感激は  
 力溢れて温泉とたぎる  
 ああ観光の大小松
3. 正義と愛とを織りなして  
 平和の鐘のなるところ  
 今新興の意気燃えて  
 進む我らが熱血は  
 文化の華と永久に咲く  
 見よ躍進の大小松

行進曲風に 蕪城正芳 作詞  
 今井松雄 作曲

*mf*

(1) ニ ツ ボ ン カ イ ノ ア ラ シ オ ノ サ カ マ ク ナ ミ ト  
 (2) こ ん ご う づ え に な み だ し て よ し つ ね う ち し  
 (3) せ い ぎ と あ い と を お り な し て へ い わ の か ね の

*mf*

タ タ カ イ テ サ ン ギ ヨ ウ ト シ ノ ケ ン セ ツ ニ キ ホ  
 ま ご ころ に か ー お る あ た か の せ き あ り て あ お  
 な る こ ころ い ま し ん こ う の い き も え て す す

*poco a poco cresc.* *f*

フ ー ワ レ ラ ガ オ ー タ ー ケ ビ  
 ぐ ー わ れ ら が か ー ん ー げ き  
 む ー わ れ ら が ね ー ー つ け つ

*mf* *mp*

ハ ー ダ イ ハ ク ー サ ン ノ ク ー  
 は ー ち か ら あ ー ふ れ て と ゆ ー  
 は ー ぶ ん か の ー は な と と ー

*mf* *f*

モ ハ ラ ー ウ ー オ オ ー セ イ ー  
 と た ぎ ー る ー あ あ ー か ん ー  
 わ に さ ー く ー み よ ー や く ー

*mf*

サ ン ノ ダ ー イ ー コ マ ツ ー  
 こ う の だ ー い ー こ ま つ ー  
 し ん の だ ー い ー こ ま つ ー

## ◇小松市のイメージキャラクター



「カブッキー」



「特別住民票」H23. 2. 22 発行

平成22(2010)年、市制70周年を記念し、小松市イメージキャラクターとして誕生した。名前は「カブッキー」。

デザインは、小松市のキャッチコピー「いよっ小松～勸進帳のふるさと～」をもとに、歌舞伎「勸進帳」に登場する「弁慶」をテーマとして、市内のデザイナーからデザインを募集し、平成22年1月15日に小松ブランドマーク審査委員会で審査し、決定した。

愛称は、市民から募集(期間：平成22年2月1日～2月17日、応募総数2,964件)し、平成22年2月19日に小松ブランドマーク審査委員会で審査し、決定した。

平成22(2010)年作成

※令和2(2020)年、市政80周年を記念して、「ポムポムプリン」とコラボ！

## ☆ プロフィール

- 住所：小松市小馬出町91番地
- 生年月日：平成22(2010)年2月22日
- 性別：不詳
- 仕事：小松の魅力PR
- 好きな言葉：難関突破！
- 好きな食べ物：小松産の新鮮な野菜、小松うどん
- 好きなこと：みんなと一緒に「いよっ小松」のポーズを決める
- チャームポイント：つぶらな瞳、きりっとした眉毛、小松市章模様のハカマがお気に入り！

## ◇姉妹都市、友好交流都市 および 交流している国・都市

### ☆姉妹都市

#### 1. スザノ市 (ブラジル) …… 昭和47(1972)年7月11日姉妹都市提携

面積…206km<sup>2</sup> 人口…30万人(2020年)

位置…サンパウロ市から東へ約40kmに位置する。

言語…ポルトガル語

20世紀前半まで主産業が農業であったが、近年サンパウロ市との高速道路が開通してから工業都市に生まれ変わった。コマツの現地法人があり、ブルドーザーを生産している。その他にも日本の企業が進出している。また、日系人世帯が多く、小松市の出身者も多くいる。

#### 2. ビルボード市 (ベルギー) …… 昭和49(1974)年5月15日姉妹都市提携

面積…21km<sup>2</sup> 人口…4万5千人(2019年)

位置…首都ブリュッセル市から北東へ約15kmに位置する。

言語…オランダ語

陸路はもちろん空路、水路共にベルギーにおける経済上重要な地位を占めており、工業都市として発展している。街中には歴史ある建築物が建ち並び、「ドリフォンテイネン(3つの泉)公園」では、多くの市民が自然の中で憩う美しい街である。

#### 3. ゲイツヘッド市 (イギリス) …… 平成3(1991)年8月2日提携

面積…143km<sup>2</sup> 人口…20万3千人(2018年)

位置…ロンドンの北西、北イングランド最大のタイン川を挟んでニューキャッスル市の対岸に位置する。ロンドンから飛行機で1時間。

言語…英語

16世紀には英国最大の炭鉱の町であったが、その後、製鉄・造船産業、今日は先端産業へと移り変わり、田園に囲まれた産業都市である。工業産業団地の造成、大学の地域産業への貢献など地域活性化を促進している。

#### 4. 済寧市 (中華人民共和国 山東省) …… 平成20(2008)年9月5日姉妹都市提携

面積…11,187km<sup>2</sup> 人口…836万人(2020年)

位置…中国山東省の南西部に位置する。

言語…中国語

孔子・孟子のゆかりの地。鉄道や高速道路など交通網が発達しており、石炭採掘量が多く、大型火力発電所を有するなど重工業が発達している。

## ☆友好交流都市 および 交流している国・都市

### 1. 桂林市 (中華人民共和國 広西壮族自治区)

面積…27,800km<sup>2</sup> 人口…534万人(2018年)

位置…広西チワン族自治区の東北部に位置する。

言語…中国語

中国重点風景遊覧都市で、典型的なカルスト地形を成し、世界的に有名な景勝地。また交通の要所で観光客や貨物輸送に便利な地でもある。工業はある程度の生産規模に達し、生ゴム、医薬、電子、機械、紡績、工芸芸術等が主なものである。

### 2. 昌寧郡 (大韓民国 慶尚南道) …… 平成8(1996)年9月20日友好都市提携

面積…533km<sup>2</sup> 人口…6万1千人(2020年)

位置…釜山より車で2時間、ソウルからは6時間のところに位置する。

言語…韓国語

産業は農業が中心で、玉ねぎ、唐辛子、柿などが主要農産物。観光資源として釜谷温泉が有名。

### 3. 彰化市 (台湾 彰化縣) …… 平成29(2017)年10月10日友好都市提携

面積…65.69km<sup>2</sup> 人口…23万1千人(2021年)

位置…台北から車で2時間、台湾中央部に位置する。

言語…中国語

年間を通じて温暖な気候で、雨量も適度。土壌は肥沃なことから農業を中心に発達してきた。近年は、発達した交通網により機械・金属・自動車部品等の金属製品を主とする製造業が盛んになってきている。

### 4. アンガルスク市 (ロシア イルクーツク州) …… 平成29(2017)年11月13日友好都市提携

面積…294km<sup>2</sup> 人口…23万5千人(2021年)

位置…ロシアのシベリア南東部に位置する。

言語…ロシア語

近郊には大規模な油田があり、石油化学コンビナートが建設されている。また、原子力発電所も操業している。

### 5. スウェーデン王国

面積…450,295km<sup>2</sup> 人口…1,022万人(2018年)

言語…スウェーデン語

北欧のスカンディナビア半島に位置し、首都ストックホルムは北欧有数の世界都市。スウェーデン北部最大の都市ウメオ市は、林業機械事業を展開するコマツのグループ会社が立地。2014年「欧州文化首都」においては小松文化プロモーションを展開

## 6. カイザースラウテルン市 (ドイツ)

面積…140km<sup>2</sup> 人口…10万人(2012年)

位置…ドイツの南西部プファルツ州に位置する。

言語…ドイツ語

大学や研究機関が多くあるほか、欧州最大規模の日本庭園がある。2006年サッカーW杯ドイツ大会では日本戦も行われた。

## 7. シェムリアップ州 (カンボジア)

面積…10,229km<sup>2</sup> 人口…100万人(2012年)

位置…カンボジア王国の北西部に位置する。

言語…クメール語

州都であるシェムリアップ市はトンレサップ湖やアンコール遺跡の観光拠点として知られる。



## 2. 自然

### ◇地形

小松市は、東から加賀山地、能美・江沼丘陵、市街地の平野部、そして日本海までと起伏に富んだ地形を有している。

### ◇河川

梯川は鈴ヶ岳(標高 1,174m)に源を発し、幹川流路延長42.0km、流域面積271km<sup>2</sup>の一級河川(昭和46(1971)年に指定)である。

### ◇潟湖(加賀三湖)

加賀三湖とは、石川県南部の小松市、加賀市に点在する三つの潟湖、今江潟、木場潟、柴山潟の総称である。干拓以前は梯川から加賀三湖、動橋川は自然の水路としてもつながり、至近の大聖寺川まで約3kmの陸路を経て現在の石川県と福井県の県境の大聖寺川河口に至るまで船での移動ができたといわれる。



#### ○今江潟(面積2.38km<sup>2</sup>、平均水深2m内外)

かつては大和蜆の産地であったが、全面干拓され農地として利用されている。昭和27(1952)年に着工され、昭和44(1969)年に完成した。

#### ○木場潟(面積1.14km<sup>2</sup>、平均水深2.2m)

県内で唯一干拓されずに残された。水郷景観の面影が残る湖として知られている。また、調整池機能を有する閉鎖性水域であり、一級河川の梯川水系である。日用川、山代川、坊川等から流れ込み、流れ出る水は前川、梯川を経て日本海へ至る。

#### ○柴山潟(面積1.85km<sup>2</sup>、平均水深2.1m)

今江潟と同時期に干拓され約1/3が残った。潟から日本海に至る二級河川の新堀川は、この時砂丘を切り開いてできた放水路である。昭和29(1954)年に日本海へ水を流すための放水路(新堀川)の建設に着工し、柴山潟の中央部を長さ約1400mの堤防で締め切り、昭和39(1964)年に完成した。

## ◇気温・降水量

小松市は、消防本部で気温、降水量を測定している。小松市も冬季の降水量が多い典型的な日本海側の気候である。  
(資料：小松市消防本部)

### 夏

夏場は天気の良い日が続き、気温は太平洋側とそれほど変わらない。湿度が非常に高く、南風が吹くと北陸に多いフェーン現象が起こるため非常に暑くなることもある。

### 冬

石川県は日本海側気候に入り、小松市も冬場は雪の日が多い。山麓には雪が多くスキー場もある。しかし暖かい対馬海流のため、海に近い平野部にはそれほど雪は積もらない。

秋から冬のはじめにかけては時雨といわれる天気が多くなる。晴れのち嵐、というような天気で、晴天と激しい風雨が交互にやってくる日本海側独特の天気である。この時期に日本海を回遊している寒ブリが、初冬の雷と合わせて獲れ始めることから、漁師が網を「起こす」というのと、寝ているブリを「起こす」という意味をかけて「ブリ起こし」といわれている。この「ブリ起こし」が鳴ると冬の到来となる。年間降水量は日本でもトップクラスの多さである。

## ◇自然環境

小松市は、西は日本海に面し、東は霊峰「白山」のふもとに迫る『水と緑に恵まれたまち』である。

石川県で唯一自然のまま残された「木場潟」、勸進帳で有名な安宅の関跡の「松林」、県の自然環境保全地域に指定されている鈴ヶ岳の「ブナ林」、そして、多種多様な動植物を育む県内でも有数の貴重な地域として「大日山」が県立自然公園に指定されている。なかでも、小松市の最高峰である

大日山(標高1,368m)は、近年登山道の整備が進んだこともあって、登山愛好者ばかりでなく中高年から小中学生を含む家族連れまで、幅広い年齢層の人たちに親しまれるようになった。



## ◇南加賀の山

### ・鞍掛山 (標高478m)

馬の鞍に似た山容の鞍掛山。たらちねの母を思わせる頂稜のやさしさに比べて手ごたえのある急登、その鞍掛の後に隠れて立つ三童子山への縦走は尾根伝いのハードなハイキングを楽しませてくれる。

### ・三童子山 (標高493m) : 「さんどうじさん」とも呼ぶ。

平安時代、ここで三人の童子(修行僧)が修行をしていた伝承が名前の由来である。朝倉氏に対抗した一向一揆の城があったとされている。

・富士写ヶ岳（標高942m）

加賀平野から見るその姿は富士山のように、頂上からは白山や福井平野まで一望できる。尾根の途中には石楠花の群生地があり、見所のあるコースである。

・大日山（標高1,368m）

南加賀に位置して眺望が良く、沢登りや尾根歩き、山スキーなどいろいろなルートを楽しむことができる。金沢からでも、車だと楽々日帰りができ、家族連れから経験者まで、広く親しまれている名山である。

・大倉岳（標高650m）

冬はスキー、春はミズバショウのハイキングに熊笹の稜線歩きと、半日で高山の気分を満喫できる山であり、家族連れには最適である。

・動山（標高604m）

立ち並ぶ大きな岩の間を散策し、白山、大日山などを展望でき、のんびりコースの登山が楽しめる。

・火燈山（標高803m）

幾体もの石仏やドクダミの群生地を有し、山名の由来も古く天正の時代と言われ、山の歴史を感じさせる神秘的な山である。

・大山（標高956m）（横谷）

大山山腹にある横谷（標高880m、約1.2ha）はミズバショウの群生地として有名である。ミズバショウの他にも、トキソウ、エゾリンドウ、レンゲツツジなどの植物が生育し、平成15（2003）年に市の指定文化財となった。

・蓮如山、鷹落山（標高494m）

加賀一向一揆の際に、柴田勝家に追われた長円寺の住職兄弟がこの地で絶命した際に、持参していた蓮如上人の真筆や経典を消失したことから蓮如山といわれている。そこから尾根伝いに行く鷹落山への縦走路は、小松市の登山道のひとつである。

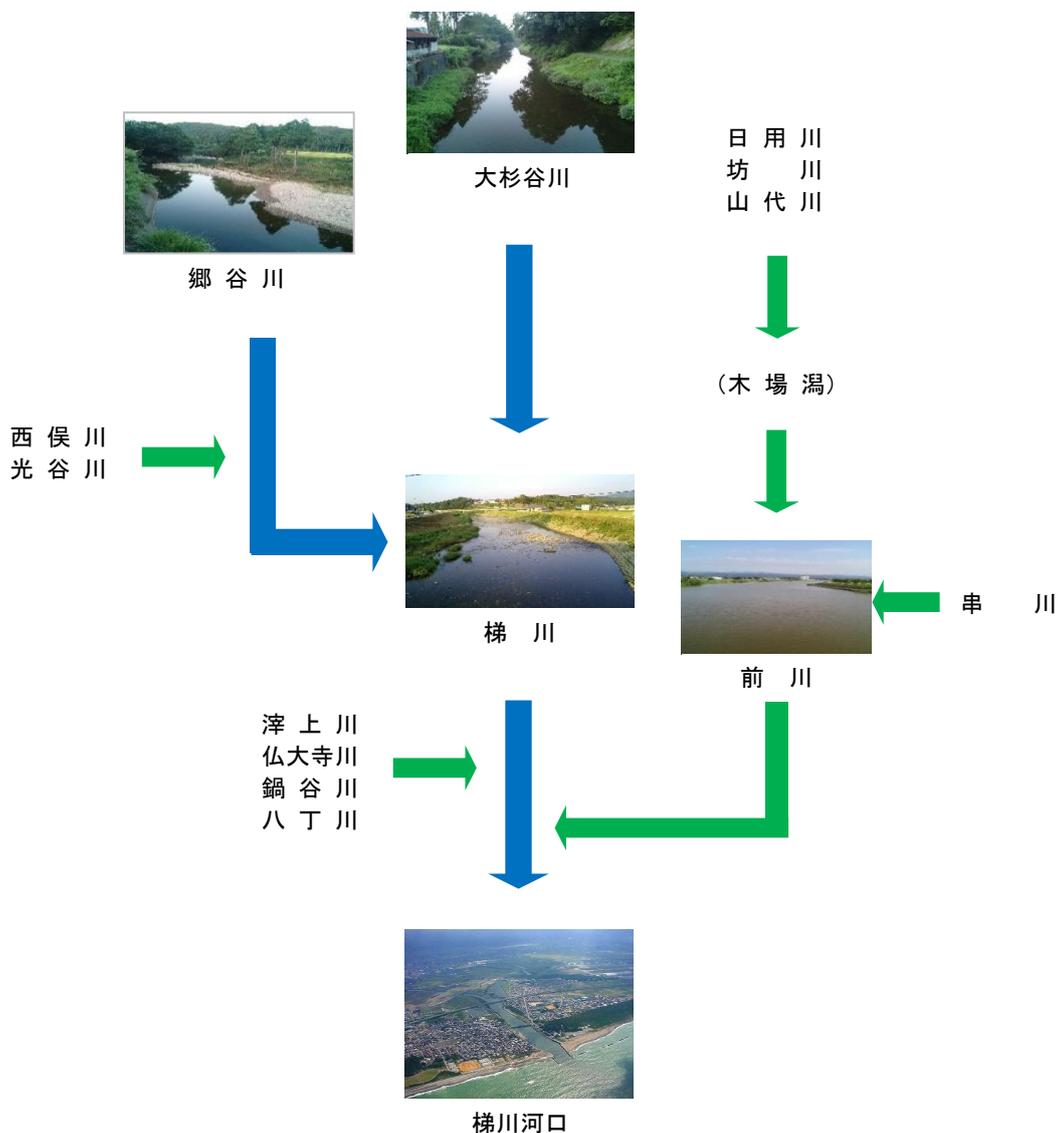
・鈴ヶ岳（標高1,174m）

大日山に向かう登山道の間地点で、途中に百間滝があり、ショウキランも見られる。

## ◇小松市を流れる川

### ☆河川名

- ・ 梯 川 …… 大杉谷川と郷谷川が合流(金野町)して、梯川になる
- ・ 大杉谷川 …… 梯川の上流域名(鈴ヶ岳(1,174m)が源)
- ・ 郷 谷 川 …… 郷谷川に西俣川と光谷川が合流 → 梯川に合流(金野町)
- ・ 西 俣 川 …… 郷谷川と合流
- ・ 光 谷 川 …… 郷谷川に合流
- ・ 滓 上 川 …… 梯川に合流
- ・ 仏大寺川 …… 梯川に合流(軽海町)
- ・ 鍋 谷 川 …… 梯川に合流(千代町)
- ・ 八 丁 川 …… 梯川に合流(平面町)
- ・ 日 用 川 …… 木場潟に合流
- ・ 坊 川 …… 木場潟に合流
- ・ 山 代 川 …… 木場潟に合流
- ・ 前 川 …… 木場潟 → 梯川に合流(安宅町)
- ・ 串 川 …… 前川と合流
- ・ 大 中 谷 川 …… 大日川に合流
- ・ 大 日 川 …… 手取川に合流
- ・ 那 谷 川 …… 動橋川(加賀)に合流
- ・ 宇 谷 川 …… 動橋川(加賀)に合流
- ・ 太田和谷 …… 白木峰からきている



## ◇梯川

### ☆流域の概要

梯川は小松市を流れる一級河川。上流域では大杉谷川と呼ばれている。白山山系大日山連峰の鈴ヶ岳(標高1,174m)に源を發し、大杉谷と通称される山間部を北流して能美・江沼丘陵に入り、金野町で郷谷川と合流する。ここから「梯川」となる。軽海町で滓上川、仏大寺川を合わせたのち、流れを西に転じて平野部に入る。

その後、手取川と梯川とによって形成された扇状地を西に蛇行し、鍋谷川と八丁川を合せつつ小松市街地を貫流し、河口付近で木場瀨より流れ出す前川を合せて、史跡「安宅の関跡」付近にて日本海に注ぐ。その流路延長は42km、流域面積271.2km<sup>2</sup>、下流部河床勾配約1/6,000の緩流河川である。



昭和43年8月頃の河川状況



小松市内を貫流する梯川

### 梯川の語源

古くは大川と呼ばれたが、前田利常が小松城に入城したのち、寛永17年(1640年)に既にあった舟橋をより堅固な橋に架け替えた。この橋は川の増水の時に橋板を増し、平水の時には橋板を減らし、洪水を予見した時には橋板を外して舟の流出を防ぐ仕組みを取っていたため、「かけ橋」(梯)と名付けられた。のちに川も橋の名前を取り、「梯川」と呼ばれた

### ☆生まれ変わる梯川

昭和43(1968)年8月28日に発生した洪水を契機として、抜本的な河川改修の必要性が高まり、昭和46(1971)年に一級河川の指定を受け、国の直轄河川改修事業に着手し、全川にわたる大幅引堤工事を行っている。

### ☆歴史と文化のつながり

梯川流域は、上流の鍋谷川流域に旧石器時代の遺跡群があり、縄文時代以降には人々の生活が活発に営まれてきた古い歴史を持つ地域である。河口部に位置する安宅にあつては、古くから海岸沿いの交通の要地であり、源義経が安宅に置かれていた関所で、弁慶の機智により難を逃れた「勸進帳」の話はよく知られている。

また、加賀前田家三代前田利常によって築城された小松城は、梯川の蛇行によってつくられた沼地を利用した平城であり、川の水を引き入れた堀の中に8個の島が兵法に従って配置されていた。

城の面積は、金沢城の倍近い約56万m<sup>2</sup>に及ぶ広大なものであり、堀が城地の約30%を占めるその様は「小松の浮城」とも呼ばれる類い希な景観を持つ名城であった。



現在の地図に落とした小松城の位置

## ☆治水事業の歴史

### ・治水事業の歴史のはじまり

梯川の本格的な治水事業の始まりは、明治44(1911)年～大正12(1923)年にかけて、屈曲の著しかった小松市街西方の下牧町から鶴ヶ島町間に河口に向けた新しい水路を掘ったことが起こりとなっている。

昭和9(1923)年7月10日に、手取川上流で降雨量460mmと平年の55日分の雨が降り、手取川で氾濫した洪水が、手取川左岸から梯川右岸一帯にかけて巨大な湖を作り、大災害が発生した。

その後、昭和43(1968)年8月の豪雨災害など、幾度の洪水を経て、抜本的な河川改修の必要性が高まり、昭和46(1971)年に梯川は一級河川に指定された。



江戸時代末期の梯川

### ・梯川河川改修のあゆみ

昭和52(1977)年から本格的な改修工事が始まり、昭和54(1979)年にはJR梯川橋梁から八丁川合流点までの右岸の築堤が完成し、平成11(1999)年には前川排水機場から白江大橋までの小松市街地区間において、都市計画が決定され、堤防法線が決定した。

平成12(2000)年には、前川排水機が完成し、平成27(2015)年には鶴ヶ島町から白江町(城南橋～白江大橋)の引堤等が完成した。また、昭和53(1978)年には赤瀬ダムが完成している。



改修が進む梯川

### ・梯川分水路のあゆみ

梯川河口から3km右岸付近には、国指定重要文化財の小松天満宮があり、地域のシンボルとなっている。このため、平成8(1996)年に文化財保護の視点より、小松天満宮の移設を伴う引堤計画から文化財の現位置保存を可能とする分水路計画に変更した。

平成11(1999)年には、分水路計画についての都市計画決定がなされ、現在に至るまで、まちづくり・川づくり・道づくりが一体となった整備が進められた。

梯川河川改修の一環で整備してきた分水路方式による改修事業が、計画策定から21年を経て、平成29(2017)年11月に完成した。



梯川分水路

◇小松市の山と川の地図



参考文献一覧

梯川・治水事業

[https://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kasen/jiten/nihon\\_kawa/0415\\_kakehashi/0415\\_kakehashi\\_01.html](https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/0415_kakehashi/0415_kakehashi_01.html)